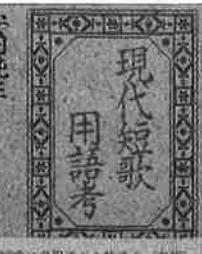


COVID-19に克つ
本を読もう
街に出ないデ
既刊本セレクト
この本、読み落していませんか

安田純生 現代短歌用語考



ば
生と事情歌ことば事情
安田純生



H12刊 本体1905円
呂書林

Tel 06-6423-7819
661-0033 兵庫県尼崎市
南武庫之荘 3-32-1-201
younohon@fancy.ocn.ne.jp

たような感覚を覚える三首目、何れも詩としての歌の豊かさがある。

(令和2年9月10日 飯塚書店 税別一八〇〇円)

□吉岡生夫著『小谷博泰の百首』ときとして異界うを読む

小谷作品の愛唱歌や注目歌を著者が受けとめ、コンパクトに纏められている。一例を挙げておく。

X字エスカレーターですれ違つたあれは俺だよ

もう見えない季節の手毬唄

この歌を「初句『X字』の『X』は上りと下りのエスカレーター、アル

歌集歌書を読む

鈴木英子

□服部みき子歌集『シンクレール』

三月の夜の散歩はほろ酔ひの地

球の肩を借りつつゆかむ

「ほろ酔ひの」で一拍おいて読んで

でも楽しい。大きな視点をこまやかな表現で支える歌は爽快である。

旅しても何ほどもなしといふこ

とを知るには旅をせよとや釈迦

はうつくしき老いを湛ふるよこが

ほは□絵弓真のヘルマン・ヘッセ

一首目。思考を巡らせるより入つてゆくことの価値。イスラエルへの旅の連作に繋がるものを見られる。

その説かれる痛みに内側の痛みが

□小林真代歌集『ターフ』

冬枯れの木立の写真あらずして

みづみづと樹木図鑑は立てり

いわき市在住の、ほとんどの歌が

や青じや

□高柳蘿子著『短歌の酵母』

III 青じ

帯に「新しい歌論」とある。特異

なのは「みんなが思い思ひに歌を詠んだその結果のなかに傾向のようなものを見つける」方法である。「みんな」は万葉集から現代までの歌詠み。近現代短歌については、約十万首収録したデータベースがあるとい

歌集名はヘッセの『デミアン』の主人公の名だが、他にも味のある人名の歌が印象深い第一歌集。

青紫蘇と荏胡麻 この世は似て非なるものの違ひを味はふところ

釘づけになる。なんて愉快なんだ。

そして本当に味わうことは案外と難しいことだぞ、と口中を意識した。

失も場所の喪失も置みこむように大切に詠われ、震災前の時間がたまもののように響く。「塔」所属。

□小林真代歌集『ターフ』

冬枯れの木立の写真あらずして

みづみづと樹木図鑑は立てり

いわき市在住の、ほとんどの歌が

や青じや

□高柳蘿子著『短歌の酵母』

III 青じ

帯に「新しい歌論」とある。特異なのは「みんなが思い思ひに歌を詠んだその結果のなかに傾向のようるものを見つける」方法である。「みんな」は万葉集から現代までの歌詠み。近現代短歌については、約十万首収録したデータベースがあるとい

触れた。わたしにも、と。少しづつ発せられた声がまとまりとなり、ひつそりと動じない一冊となつた。

どこへでもゆけるおまへをどこまでも追ひゆかむ甲状腺検査は

震災で天井が落ちてしまひしを

この店らしいと言へばそれまで二首目の店名が「ターフ」。人の喪

失も場所の喪失も置みこむようになつて詠われ、震災前の時間がたまもののように響く。「塔」所属。

□小林真代歌集『ターフ』

冬枯れの木立の写真あらずして

みづみづと樹木図鑑は立てり

いわき市在住の、ほとんどの歌が

や青じや

□高柳蘿子著『短歌の酵母』

III 青じ

帯に「新しい歌論」とある。特異なのは「みんなが思い思ひに歌を詠んだその結果のなかに傾向のようるものを見つける」方法である。「みんな」は万葉集から現代までの歌詠み。近現代短歌については、約十万首収録したデータベースがあるとい